

## Vol.1

綾ユネスコエコパークまちづくりネットワーク協議会紹介

## 綾雛山まつり実行委員会 (小野真敬実行委員長・19人)

毎年2月下旬から3月上旬にかけて開催される「綾雛山まつり」の企画・運営を行っている団体です。地元の伝統文化である「雛山」にまつわる思い出や雛山づくりの技術を後世に残していきたいという思いで活動しています。

雛山の歴史は、江戸時代まで遡ります。長女の初節句を祝うため、親戚や近隣の人たちが古木や花などを持ち寄って、屋内に奥山の風景を再現したのが雛山です。「雄大な自然のように清く優しく大きく育ってほしい」という願いが込められた、心温かな伝統文化です。

実行委員会は、綾雛山まつりの企画・運営を綾町商工会女性部から引き継いで、令和2年に立ち上げました。原点に立ち返って、初節句を迎える地元の子どもたちを町民みんなで祝うとともに、地元の人たちが楽しめるまつりであることをコンセプトにしています。

今年の雛山まつりでは、エコパークセンターや宮崎空港、こどものくになどにも雛山を設置したほか、横町・栄町線を歩行者天国にして「ひな



にぎわった「ひなやまマルシェ」

多くの人が準備・運営に汗を流しました

やまマルシェ」を初開催し、町内外の多くの人に楽しんでもらうことができました。実行委員以外にも数多くの町民の皆さんが、雛山設置やマルシェの運営に参加してくださったことも大きな成果だったと思います。

雛山は町内では誰もが知っていますが、国内でも海外でも類を見ない文化です。今後は、綾らしいこの伝統文化を世界の皆さんにも知ってもらうために、活動情報の発信にも取り組む計画です。

綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp> ※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館  
休館などの情報はホームページで随時更新します



## Column ドブガイ

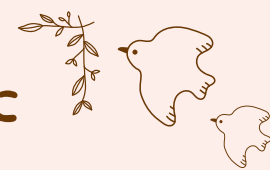
池・沼・水田などの流れのない水場に生息する二枚貝です。

全国各地に分布する貝ですが、県内での生息地は限られており、綾町では河川のワンドで確認されています。殻の長さ10〜15cmと大きな体ながら、水底の泥の中にもぐっていることが多いため、全体を見ることがない人も多いのではないのでしょうか。

本種のエラには、魚類のタナゴの仲間が産卵母貝として卵を産み付けることがあります。そのため、こうした二枚貝をむやみに別の地域へ移動させると本来生息していなかったタナゴの仲間が分布を広げることにつながり兼ねません。捕まえる際には注意が必要です。



## 東洋紡と 包括的連携協定を結びました



綾町は6月6日、繊維・化成など高機能製品の開発・製造を行う大手化学企業の東洋紡株式会社および東洋紡不動産株式会社と包括的連携協定を締結しました。

東洋紡グループは、昭和46年から化学繊維原料の自給を目的に約140ヘクタールの「綾の森」を保有しています。昨行われた生態系調査では、「綾の森」は植生が豊かで、クマタカなどの絶滅危惧種を含む希少な野生動物が生息・生育していることが分かりました。

また、同グループは「サステナブル・ビジョン2030」を掲げ、「良質な水域・大気・土壌と生物多様性」の実現に貢献すべく、環境省が主導する「生物多様性のための30by30アライアンス」にも参画しています。さらに、

「綾の森」のOECM認定取得も進めています。

そこで、綾ユネスコエコパークと連携して生物多様性保全の取り組みを強化しようと連携協定を結んだのです。

今後は、「綾の森」での環境学習や情報発信に取り組んでいくことが計画されています。合わせて、両者が共同で持続可能な森林管理を進め、地域の防災に寄与する水源涵養機能を維持するとともに、希少野生動物植物の生息・生育環境の保護に努めていくことを目指します。

※OECMとは：保護地域以外で地域・企業・団体によって生物多様性の保全が図られている土地



左) 東洋紡・東洋紡不動産との連携協定締結式  
右上・下) 東洋紡グループが町内に保有している「綾の森」。  
ユネスコエコパークの緩衝地域に隣接しています。

